

CAMD セミナー

(Center for Development of Advanced Medicine for Dementia)

アルツハイマー病治療薬開発の課題を越えて

同志社大学 生命医科学研究科 客員教授

杉本 八郎 先生

平成 29 年 10 月 19 日(木) 午後 4 時 00 分～

東棟 2 階 会議室

杉本八郎先生は 1987 年にアルツハイマー病治療薬「塩酸ドネペジル (アリセプト®)」を開発されました。この発明によりアルツハイマー病の治療が初めて可能となり、日本薬学会技術賞、英国ガリアン賞特別賞、エーザイ科学賞、化学・バイオつくば賞、恩賜発明賞など多くの賞を受賞されております。

また近年には、アルツハイマー病の根治を目指して疾患修飾薬(disease-modifying therapy)の開発を遂行されております。

この度、アルツハイマー病治療薬開発の最先端についてのご講演を拝聴すべく招聘致しました。よろしくご参集のほどお願いいたします。